

【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

どんな時代でも資産形成の根本は同じ

発行者：牧野 F P 事務所合同会社 代表社員 牧野寿和

牧野 F P 事務所 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

<第 427 号の目次>

■ 今週のテーマ

どんな時代でも資産形成の根本は同じ

■ 「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ

■ 「人生の添乗員 (R)」牧野寿和のプロフィール

■ 編集後記

それでは、

今週のテーマからはじめます。

*:**

■ 今週のテーマ

どんな時代でも資産形成の根本は同じ

*:**

2020 年は、

誰も経験したことのない1年になりました。

2021年は、
今までの生活を取り戻したいものです。

ところでこの1年間2020年の、
私たちの家計収支に関わる、
家計の運営を振り返ってみると、

コロナ禍の出来事は、
長い人生においては短期間のことではありますが、

ご家庭によって違いはあるものの、
例年とあまり変わっていなかったこと、
反対に大幅に変わったこともあるでしょう。

そこで今回は、
長い人生を歩んでいくのに、
どんな時代でも変わらないこと、
また、変えてはいけない、

資産形成の根本とはなにか、検証していきます。

ご自身の資産形成を考える

私たちは、
なぜ資産を形成することが必要なのでしょうか？

その方によって理由は違うでしょう。

例えば、

- ・住宅購入の時の頭金
- ・子どもの大学入学などの教育費
- ・自宅の修繕費といった、

将来、一度に多額の現金を支払うときに備えて、
お金を貯める場合や、

- ・ご自身やご夫婦の老後の生活資金を、
現役のうちから貯める
- ・相続税の納付資金を貯める

・将来の起業資金を貯める
といったように、
個々人の目的を実現するためになどに、
お金を貯めることもあります。

また、お金を貯めることで、
資産を形成して、
形成された資産を目的のために使う、
この循環とともに貯蓄も増やされている方もみえます。

なお、無駄にお金を使うことはなく貯めている方や、
いわゆる資産家の家系で、
すでに何代も前から、
資産が形成されていく仕組みが出来ている。
という方もいるでしょう。

この記事では、
このような方の資産形成ではなく、
前者の方々に注目していきます。

資産を形成していく方法

上記で、資産形成のために、
お金を貯めるとお話をしました。

違和感を持たれた読者の方もみえるでしょう。

なぜ、このようにお話を始めたかは、
もう少しお読みください。

資産を形成するには、
当然ですが資金が必要です。

通常、毎月の給与や収入から、
一定の額を資金として、
積み立てて行く方もいるでしょう。

保険商品や定期預金の満期金といった
まとまって手元に入ったお金を、
資金にする方もいるでしょう。

なかには、不動産の賃貸経営をして家賃収入を
資金とする方もいるでしょう。

これらのお金をどのように増やしていくかは、まさに、その方の性格が大きく影響します。

ほとんど利息がつかない、銀行に定期預金をして増やしていく。

元本保証のない株式や投資信託などの金融商品を利用する。

定期預金と株式の両方で運用していく。

といったように、さまざまな資産の運用の方法はあります。

その方が、これまでに貯めた（形成した）額やその方が、現在の資産を増やすために、いくら位まで、資金を使えるか（リスクの許容度といいます）によっても、資産を作っていく、つまり、資産運用の方法は違います。

なお、収入が減ったなどの環境の変化によって、資金に充てることの原因が増減して、資産形成の方法を、臨機応変に対応していくことも必要です。

資産形成の根本とは

収入が減ったなどの理由で、資産形成の方法を変えた場合に、変えていけないことがあります。

それは、今一度何のために資産を形成しているのか、その目的を確認することです。

住宅購入の頭金の場合で、どうしても目的の金額を貯めたい場合は、家計からの他の支出を調整することです。

つまり、頭金の貯蓄以外の支出を減らすか、家計の収入を増やすことです。

また、住宅購入の計画を見直して、
具体的には、購入物件を、
当初より安価な別件に変えて
頭金資金を減らすのも方法です。

さらに、
住宅購入の計画自体を、
先延ばしすることも一案です。

頭金のために貯めたお金は、
使わないようにプールしておくか、
今必要として費用に使うのも手です。

つまり、
家計は、収入と支出、
それに貯蓄・資産で、
回していかななくてはなりません。
それ以外は方法がないのです。

従って、貯蓄をして、
資産を形成する目的を変更することは、
明確な利用目的であれば、
変更することに問題ありません。

しかし、変更する理由が、
誰しものが納得できる理由でなければ、
お小遣いなどを減らしても、
当初に決めた目的を実行するために、
貯蓄・資産の形成は続けるのです。

ここは変えてはいけないことです。

これが、資産形成の根本です。

従って、資産形成の根本が理解できていれば、

後年から振り返れば、

適切な方法で形成されていた

と、自他ともに評価できることでしょう。

■「人生の添乗員（R）」からのワンポイントメッセージ

資産形成は、

どんな時代でも目的がしっかりしていれば、

成り立ちます。

■人生の添乗員（R）牧野寿和のプロフィール

日本で唯一「人生の添乗員（R）」を名乗れる

公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー

開業 17 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、日本の方と他国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。
2018 年から牧野 F P 事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ 900 件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・ NPO 法人日本ファイナンシャルプランナーズ（FP）協会 CFP（R）認定者
- ・ 1 級ファイナンシャル・プランニング技能士（資産設計提案業務）
- ・ 福祉住環境コーディネーター

・総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ～テレ（名古屋テレビ）「UP！」

<出版>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない！
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談を受けている方は、名古屋市内はもとより
愛知、岐阜、三重県、
ご紹介をいただいて、首都圏や関西にも
足を延ばす機会が増えてきました。

「人生の添乗員（R）」は、どこまでも行きます。

他人を気にすることなく、
相談者ご自身にとって
有益な提案を心がけています。

*:

■編集後記

*:

誰しも想像が出来なかった 2020 年が終わります。

2021 年以降は、

新しい家計運営のあり方、

2020 年の家計を振り返る

良い機会になることを祈っています。

【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

本年もご愛読いただきありがとうございました。

来年は1月13日（水）より発行の予定です。

来年もご愛読のほど、
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

■ 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。
こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで
お願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野FP事務所合同会社 公式サイト : <https://www.makino-fp.com>

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。
ご自身の責任でご判断下さい。
